



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★ドレミ楽譜出版社

- こどものバイエル 学習の要点 標準版
田丸信明 編 本体2500円+税 6月中旬発売予定
標準版こどものバイエル上・下巻に完全対応した指導者のための手引き書です。
- あこがれのピアニスト発表会曲集 こんなにほしかった！
武田克子 編 本体1500円+税 6月下旬発売予定
どこかで聞いた事がある、そんな曲を中心に発表会用にまとめた。
- 気軽にリスト/ピアノ・セレクション バイエルからツェルニー30番程度
編集部編 本体1200円+税 6月上旬発売予定
彼の作品の中から良く知られたピアノ曲やオーケストラ曲を選び、やさしくピアノアレンジしました。

★全音楽譜出版社

- ショパン・マズルカ 第②集 コルトー版
アルフレッド・コルトー監修 八田淳 翻訳 校閲 本体2700円+税
既に世界的な認知を得ているコルトー版のショパン・マズルカ第②集です。
- これで納得！ よくわかる音楽用語のはなし イタリアの日常会話から学ぶ
関 孝弘/ラーゴ・マリアンジェラ 共著 本体1900円+税
イタリア生活26年を迎えるピアニスト関氏とマリアンジェラ夫婦の書き下ろし。
目からウロコの音楽用語。
- バッハ 平均律クラヴィーア曲集② バッハ演奏へのアプローチ
高木幸三 校訂・解説 本体2800円+税
バッハの原典版にはフレーズやアーティキュレーションの指示が無い為、それを容易に理解するために運指構造演奏法などを全て示して分かり易くしたものです。

★ヤマハミュージックメディア

- ディズニー・マジック・ミュージック
本体各2000円+税 (DVD 1枚+小冊子 16頁付き) 7月上旬発売予定
リズムであそぼう！ (リトミック)
ドレミでうたおう！ (音名順)
がっき だいすき！ (楽器とねいろ)
3〜6歳の未就学児を対象。音楽知育 3巻のDVDを見るだけで学べる！
- 月刊ピアノ 06年7月号 創刊10周年 一特別編集号—
本体476円+税 6月20日発売予定
本誌綴じ込み付録にて、購入者全員に特製クリアファイルプレゼント

★音楽之友社

- モーツァルト全作品事典 ニール・ザスロー編 森 泰彦 安田和信 監訳 3500円+税
モーツァルトの全作品ガイドの翻訳出版です。
最新の研究成果を盛り込んだ信頼の一冊。
- the ミュージックセラピー2006
Vol.09 音楽療法の本
本体1500円+税 6月21日発売予定
音楽療法士と福祉、医療、教育に携わる人に。

★デプロ

- 新・ピアノ名曲120選 [A] [B] [C]
デプロ編 本体各1200円+税
芸術性に富んだクラシックピアノ名曲を3巻に渡り全120曲を厳選。グレード別に掲載したピアノ全集の決定版。



あこがれのピアニスト
発表会曲集
(ドレミ楽譜出版)



気軽にリスト
ピアノセレクション
(ドレミ楽譜出版社)



バッハ
平均律クラヴィーア曲集②
(全音楽譜出版社)

第64号
(2006年6月)

ピアノレスナーのための情報誌

NEWS88

ブルグミュラー再考

～生誕200周年を迎えて～

いいだ ありさ
飯田 有抄
(音楽学・ぶるぐ協会)

ピアノを弾きたいと願う多くの子供から大人まで、今なお愛されてやまない曲集「ブルグミュラー 25の練習曲 op.100」。この曲集に育てられたピアノ愛好者は日本にいったい何万人いることでしょうか！生徒も、そのお母さんも、先生も、みんなが共通に知っています。実はこれだけ盛んに弾かれているのはここ日本が代表的な国のようです。音楽の構力や表現力を知り、さらに養うために、私たちはこの曲集の「良さ」を知り尽くしているようです。

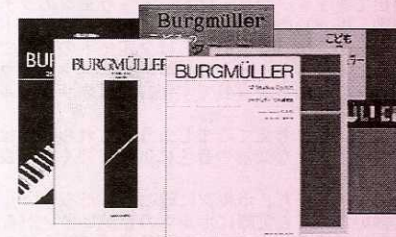
楽譜屋さんでは20を超える出版版を買うことができます。これだけ豊富な種類があるのはブルグミュラーならでは！解説や挿絵、タイトルの日本語訳など、いくつも手にとって、ご自分あるいは生徒さんに相性のいいものを探すだけでも楽しいかもしれません。フレーズや強弱の付け方なども版によって違いますから、「どれがぴったりくるか」と自由に選ぶ作業そのものが、音楽の楽しい訓練になりそうです。

「25練習曲」がこれだけ有名でありながら、作曲者のフリードリヒ・ブルグミュラー (1806～1874) については、実はあまり知られていません。今年が生誕200周年にあたるということも、すっかりモーツァルトの影に隠れてしまいました。南ドイツのレーゲンスブルクに生まれ、20代後半からはバリでピアノ教師として活躍します。300曲をこえる小さなピアノ小品を書き、そしてバレエ音楽「ペリ」という傑作も残しています。

日本のレッスンの現場で長年演奏され続けた「信頼」、そして指導や演奏のたびに会おう「発見」。そうした目をもって「25練習曲」を今一度ゆっくり見直してみるのはいかがでしょう。

ブルグミュラーの人物像や、日本に「25練習曲」が伝えた過程などを少しずつ浮き彫りにしたいと、今年2月に「ぶるぐ協会」を設立しました。その活動をビティナホームページで紹介しています。

「みんなのブルグミュラー」連載中
<http://www.piano.or.jp/enc>



飯田有抄プロフィール

東京藝術大学音楽研究科修士課程修了。同大学研究センター助手を経て、2006年2月より個人団体「ぶるぐ協会」を設立。3月よりPTNAホームページにて連載を開始。2006年7月よりMacquarie大学大学院の翻訳・通訳科進学予定。



今月のNEWSな楽譜&グッズ

★サーベル社

- 小学生のためのおんぷワーク・ブック②
遠藤蓉子著 本体950円+税
小学生を対象として純粋に音符を覚えるためのワークブックの第二巻です。

★共同音楽出版社

- 連弾モーツァルト エトワール・エフルール ピアノ連弾シリーズ
西原・花野編著 本体1500円+税
原曲に近い味わいをお楽しみ頂けます。コンサートを華やかに彩るレパートリーに最適。





ピアノ指導の 現場から



新連載 ピアノの「音色」あれこれ 第1回

ピアノというのは不思議な楽器で、だれが弾いても同じ鍵盤からは同じ高さの音が出る一方で、弾く人が変わると全然違った音色になります。その音色がなんとなく弾き手の性格やお人柄を映しているような気がして妙に納得したり、発表会などで兄弟姉妹が似た音色で演奏する場面に遭遇したり、実年の初心者の方が感動的に美しい音色を奏でたり、等々、ピアノの音色の世界はとて面白く、奥深いものがあります。

これから数回、ごいっしょにピアノの音色についてあれこれ考えてみませんか。

ピアノで「他の楽器をイメージする」ことへの難題

よく「他の楽器をイメージして弾きましょう」ということが言われます。そのようなイメージを持って弾くことは、ただ鍵盤に向かって弾いているときとは違い、音色に対する敏感さやタッチの多様性を導いてくれるでしょう。

ピアノ曲には、しばしば他の楽器を思わせるような音が出てきます。たとえばベートーヴェンのソナタ「告別」Op.81aの冒頭はホルンのようだし、ドビュッシーの「小さな羊飼ひ」はフルートのようです。また、ドボルジャークの「ユーモレスク」はヴァイオリンでの演奏が有名ですが、実はオリジナルはピアノ曲です。

さて、ちょっと考えてみましょう。これらの曲は、やはり前述のような楽器の音色に似せて弾くのが良いのでしょうか？

たとえば「ビーだ、ホルンに聴こえるだろう…」と念じて弾いてみても実際にホルンの音がピアノから出てくるわけではありません。実際私が一所懸命何かの楽器をイメージして弾いても、聴き手にどんな楽器に聴こえたか尋ねると「さあ？？わかりません…」と言われて打ちのめされることがあります。

しかし一方で、誰かの演奏を聴いているとき、ふとピアノ以外の音色が聴こえてきたように思うこともあります。これは果たして錯覚なのでしょう？

J.S.バッハの作品に、一人で演奏するのに協奏曲という名を持つ「イタリア協奏曲」があります。この名称は、たった一台のチェンバロ演奏によって聴衆に協奏曲を聴くような気分を楽しんでもらおうという趣向に由来しています。CDなど無かった当時、チェンバロ奏者が即興的にオーケストラ曲を一人で演奏するのを聴くことは、人々にとって大きな楽しみだったでしょう。音楽史のひとコマを実感できる曲の一つです。

さて、これを今日ではピアノで演奏するわけですが、こんな素朴な疑問が浮かびます。この曲はチェンバロの音色を想像して弾けばいいのでしょうか。それともオーケストラの音色を想像するのがよいのでしょうか。はたまた、当時の奏者がチェンバロでオーケストラの真似をしていたのをさらにピアノで真似して弾けばよいのでしょうか？

ベートーヴェンのピアノソナタにも、重大な疑惑があります。たとえば「テンペスト」Op.31-2の第2楽章は、どう見てもオーケストラのイメージです。

17小節からの左手はティンパニ、18小節からの右手はホルン合奏、30小節からの主旋律はオーボエというように、オーケストラのような音が次から次へと出てきます。それじゃあどうして彼は、この曲をピアノで書いたのか？ そんなにオーケストラっぽくしたいなら、最初からオーケストラで書けばいいのに…。

これに対し、かのドビュッシーは皮肉屋の本領を発揮してこう言っています。「ベートーヴェンのピアノソナタは、非常にまずくピアノに編曲された32曲の交響曲である。」確かにベートーヴェンの曲には、しばしば弾きづらい箇所が出てきます。どんな指使いを考へても指が足りなくなるパッセージ、無理な跳躍、腕が疲れるトレモロ…。オーケストラで演奏すれば簡単なことを、なぜこんな忍耐を最後までわざわざピアノで弾かなければならないのでしょうか？

今回は、やや裏道を通してあれこれと考えてみました。これらの「？」は、考えないで済ませてしまえば何ということもないのかも知れませんが、ちょっと考えてみると色々な視点があって面白いと思いませんか？ 次回はこれらの問題に答えを出すべく、具体的に考えて行きたいと思います。

プロフィール

全国各地でコンサート、講座等を行い、特に1999年よりスタートしたトークコンサートは好評を博す。最近ではティナ・ピアノステップでのオプションコンサートや、ピアノの四期、作曲家の生涯などについてのトークを交えてのコンサート等を展開中。2004年、舞曲を集めたCD「舞」をリリース。東邦音楽大学、東邦音楽短期大学講師。社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員。

國谷尊之ホームページ

<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~alvento/>

☆國谷尊之のレクチャーコンサート☆ 東邦音楽大学エクステンションセンター公開講座 「生涯250年〜モーツァルトの華麗な変奏技法」

【日程】2006年9月16日（土）

【時間】13:00〜15:00

【会場】東邦音楽大学大塚キャンパス「50周年記念館」

【演奏曲目】

モーツァルト：サリエリの主題による変奏曲 長調K.180 (173c)
ソナタ 長調K.331 (300i) 「トルコ行進曲付」

内容詳細は、上記國谷尊之HP

または、東邦音楽大学エクステンションセンターHP

http://www.toho-music.ac.jp/extensioncenter/index_j.html

【お申込み・お問合せ】

東邦音楽大学エクステンションセンター 電話：03-3946-9667



くにや たかゆき
國谷 尊之



～連載～ ピアノレッスンの今後



♪♪♪Music Key Lesson レポート♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

“大人のピアノレッスン”がもてはやされて何年かたちます。大人のためのテキストも店頭がたくさん並ぶ昨今。私たちの講座を受講される先生がたの殆どが大人の生徒さんがいらっしゃいます。

そんな中、悩みをお持ちの先生も多いようです。お若い先生はご自分より年上の生徒さんにどう接したらよいのか…また経験の多い先生でも、音楽的にどこまで要求してよいのか…などなど、やはり子供のレッスン同様、指導者としての悩みは尽きないようです。

レッスンを始められて12年のTさん。「先日50歳になりました。レッスンお願いしたいんですが…今からでもピアノ弾けるようになるかしら…」と、不安と期待を一杯に入門されて早12年。そんな奥様に旦那さまが、なんとグランドピアノ…しかもいつでも心置きなく練習できるようにと防音室までプレゼントしてくれたのです。最初は譜読みやリズム指導、そしてテクニック…本人も夢中になって練習しました。憧れの“エリーゼのために”…そして“乙女の祈り”この頃はお仕事が終わった後も、毎晩遅くまで練習されたようです。50代前半の頃です。

それから今に至るまで、途中お仕事で腕を痛められ、手術をしたこともありましたが、そんな頃は痛みでピアノを弾く事ができず辛かったようです。世の中が不況に見舞われた時は家業も厳しく…肉体的にも精神的にも辛く、とてもピアノを弾く気持ちになれず…いつも前向きで明るいTさんでしたが、ピアノのレッスンを“暫くお休みする”と。でも2〜3ヶ月もした頃、お電話で「やっぱりレッスン続けます！なかなか弾けないけれど、レッスンに通っているという自分がやっぱり好きだから…」と。この頃からTさんにとってピアノのレッスンは“掛け替えのない大切な空間”となったように思います。

大人になってレッスンに通うということの“奥の深さ”をTさんからたくさん学びました。大人の方はそれぞれに思いを持って…しかも大決心してピアノをスタートされます。ピアノを続ける思いもそれぞれ違います。ですからレッスンの進め方もそれぞれ違って当然。私たちはそれぞれの願いや思いの実現に向けて微力ながらお手伝いできたら…そう思い、常に正直に接したいと考えています。“大人こそ我がままに、そして楽しく”これが長く続ける秘訣かな〜と最近強く思うのです。

★講座のご案内★

講師：岩瀬洋子

●魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」
今「ピアノのおけいこ」のあり方（練習しない/親子で根気がないなど）に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師（指導）、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】第10期 7/7, 9/8, 10/6, 11/10, 12/8, 1/12
（毎回金曜日）お申し込みはお早めに！

【会場】東京芸術劇場第5会議室

（池袋駅西口徒歩3分）10:00〜12:00

【多治見】7/4, 9/5, 10/3, 11/7, 12/5

（毎回火曜日）10:30〜12:30

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」
これは上記講座修了者がさらに深く学習できるような実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【東京】第8期 7/6, 9/7, 10/5, 11/9, 12/7, 1/11

【会場】東京芸術劇場第5会議室 10:00〜12:00

【筑波】7/13, 9/14 10:30〜12:30

【名古屋】7/5, 9/6, 10/4, 11/1, 12/6

10:00〜12:00

【姫路】7/14, 9/15, 10/13, 12/1, 1/19 9:50〜11:50

講師：田村智子

●ピアノ教師のための指導認定講座

「導入編：名古屋6/21」

●ページペラペラくらべてクラクラどーするメソッド
7/7銀座

●英語に親しむピアノ教本ピアノディスカヴァリーズ
（日本初！英語とピアノが合体）
広島6/14・大阪6/23・博多6/22・町田7/10・千葉9/25

上記講座に関しましてのお問合せ：

ミュージックキー055-989-3900 担当：植松

詳しいことは<http://sound.jp/musickey/>へ。

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3666-2221（業務部） TEL 03-3666-2224（営業部）

FAX 03-3666-2222 <http://www.prima-gakki.co.jp/>

札幌営業所

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50

TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所

〒453-0016 愛知県名古屋市中村区黄金通り2-59 プリンセス名駅西1階 1A

TEL 052-466-2630 FAX 052-466-2636